

こくさい新聞

中学1・2・3年生

下関市総合政策部
国際課

電話:083(231)9653

メール
sskokusa@city.shimo
noseki.yamaguchi.jp

めざせ、未来の「国際人」！ 小学生海外派遣報告〜中国版〜

下関市では友好都市の中国青島市に毎年小学生を派遣しています。今回で12回目の派遣となりました。家族と離れての外国の体験はちよつと不安ですが、日本では体験できないことばかり。今号ではここでしか体験できないとおきの青島を、皆さんの友達の体験を交えて紹介します。

あつという間に到着

昨年11月8日〜11日に青島派遣研修が行われました。青島へは福岡空港から飛行機で行きました。約2時間の移動なので、あつという間に到着です。途中上空から見える青島市の高層ビルに、団員たちはびっくりしました。



青島空港は新しく、大きな変大空でした。福岡空港にて出発を待つ団員たち

気分は外交官！

団員は下関市の代表として青島市役所を表敬訪問しました。日本と異なり、普段はなかなか中に入れない市役所。入り口では軍隊の人も見張っています。今回は下関市代表として、特別に中に入れてもらいました。表敬中の中国語での自己紹介はドキ



青島市の副市長と記念撮影

大成功。立派に下関代表を務めました。

海外で暮らす日本の友達

青島で暮らす日本の小学生が通う日本人学校を訪問しました。みなさんと同じ年頃のみなが、外国の学校で勉強しています。勉強する内容は基本的に下関と同じですが、外国で生活する彼らは、中国語も勉強しなければ



平家太鼓を披露する団員

なりません。海外で暮らす大変さも教えてくれました。

目指せ、パン職人！

青島のジャスコで大人気のパン屋さん、フラソアの工場に行きました。



パン作りを体験する団員たち

これななんだ？

どこか見覚えのあるこのシレット。見た目どおり郵便ポストです。日本では赤色をしているポストも中国に行けば緑色。こんな違いを探してみるのも研修の楽しみの一つです。中国から日本へハガキを送る場合、約60円で送れます。1週間もあれば日本に届くので、研修中に自分宛に手紙を書くのも面白いかも。もちろん送り方は日本と同じで、中国の切手を貼ってポストに投函するだけです。



街中に数多くあるポスト

ちなみに中国語の「手紙」はトイレットペーパーの意味です。間違えないように。

メイド・イン・チャイナ

私たちの身の回りにはたくさん中国製品があふれています。知らず識らずのうちに使っています。今回はそんな商品の一つ、靴下を作っている工場に見学に行きました。ここで作られた靴下は日本に輸出されます。あっという間に完成して靴下を履いた団員



工場見学の様子

美しい街並み青島

ドイツ統治時代の面影を多く残す青島。レンガ造りの建物に囲まれた様子は、まるでヨーロッパにあるようです。その中でも美しい青島の観光地、小魚山や迎賓館を見学し、青島の歴史を感じました。



迎賓館を見学する様子

も海外派遣研修(中学生は米国ピッツバーグ市)を行いますので、今後の「こくさい新聞」をお楽しみに！

国際課は未来の国際人育成のため、今年に、今年